

変更計画（後期基本計画）・第3回総合計画審議会提案時															
【安心】 誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり															
（１）誰もが安心して暮らせる地域社会の構築															
①多様なつながりと支え合いによる地域福祉を進める															
現状と課題															
○少子高齢化や核家族化の進行、ライフスタイルの多様化などにより地域コミュニティが希薄化し、社会的孤立の問題が深刻化しているため、地域住民の福祉に対する意識を高め、地域福祉活動への参加を促進する取組が必要です。															
○自ら支援を求められない人や、ひきこもりの状態にある人などを把握し、適切な支援につなげることが必要です。また、支援や施策の内容などの情報を、必要とする人へ届けるための体制づくりが必要です。															
○生活困窮者の抱える課題は、複雑かつ複合的なことも多く、関係機関等が緊密に連携して対応することが必要です。															
施策の方針															
市民が住み慣れた地域で支え合いながら、支援が行き届く体制の整備を進め、重層的な地域福祉ネットワークの構築と、ユニバーサル社会づくりの実現に向け、誰もが地域社会の一員として、いきいきと安心して暮らすことができるよう、すべての人にやさしい福祉のまちづくりに取り組みます。															
また、生活に課題を抱えた人が、それぞれの状態に応じた支援を受け、社会的に自立し、安心して暮らせる支援体制の整備に取り組みます。															
目標指標															
<table><tr><th>目標指標</th><th>単位</th><th>基準値 (2024 年度)</th><th>目標値 (2030年度)</th></tr><tr><td>福祉ボランティア登録数</td><td>人</td><td>406</td><td>406</td></tr><tr><td>集いの場開設数</td><td>箇所</td><td>124</td><td>154</td></tr></table>				目標指標	単位	基準値 (2024 年度)	目標値 (2030年度)	福祉ボランティア登録数	人	406	406	集いの場開設数	箇所	124	154
目標指標	単位	基準値 (2024 年度)	目標値 (2030年度)												
福祉ボランティア登録数	人	406	406												
集いの場開設数	箇所	124	154												
施策の展開															
Ⅰ.地域福祉活動の活性化															
主な取組	◇福祉人材の発掘・育成、活動支援 ◇地域住民が主体となった活動の支援 ◇関西福祉大学との連携推進 ◇社会福祉法人の地域広域活動の推進 ◇集える場、連携できる場の充実														

変更計画（後期基本計画）															
【安心】 誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり															
（１）誰もが安心して暮らせる地域社会の構築															
①多様なつながりと支え合いによる地域福祉を進める															
現状と課題															
○少子高齢化や核家族化の進行、ライフスタイルの多様化などにより地域コミュニティが希薄化し、社会的孤立の問題が深刻化しているため、地域住民の福祉に対する意識を高め、地域福祉活動への参加を促進する取組が必要です。															
○自ら支援を求められない人や、ひきこもりの状態にある人などを把握し、適切な支援につなげることが必要です。また、支援や施策の内容などの情報を、必要とする人へ届けるための体制づくりが必要です。															
○生活困窮者の抱える課題は、複雑かつ複合的なことも多く、関係機関等が緊密に連携して対応することが必要です。															
施策の方針															
市民が住み慣れた地域で支え合いながら、支援が行き届く体制の整備を進め、重層的な地域福祉ネットワークの構築と、ユニバーサル社会づくりの実現に向け、誰もが地域社会の一員として、いきいきと安心して暮らすことができるよう、すべての人にやさしい福祉のまちづくりに取り組みます。															
また、生活に課題を抱えた人が、それぞれの状態に応じた支援を受け、社会的に自立し、安心して暮らせる支援体制の整備に取り組みます。															
目標指標															
<table><tr><th>目標指標</th><th>単位</th><th>基準値 (2024 年度)</th><th>目標値 (2030年度)</th></tr><tr><td>福祉ボランティア登録数</td><td>人</td><td>501</td><td>501</td></tr><tr><td>集いの場開設数</td><td>箇所</td><td>124</td><td>154</td></tr></table>				目標指標	単位	基準値 (2024 年度)	目標値 (2030年度)	福祉ボランティア登録数	人	501	501	集いの場開設数	箇所	124	154
目標指標	単位	基準値 (2024 年度)	目標値 (2030年度)												
福祉ボランティア登録数	人	501	501												
集いの場開設数	箇所	124	154												
施策の展開															
Ⅰ.地域福祉活動の活性化															
主な取組	◇福祉人材の発掘・育成、活動支援 ◇地域住民が主体となった活動の支援 ◇関西福祉大学との連携推進 ◇社会福祉法人の地域広域活動の推進 ◇集える場、連携できる場の充実														

2.地域福祉推進体制の強化

主な取組	◇市民ニーズの把握と関係機関との連携強化
	◇包括的な相談支援体制の構築
	◇重層的な福祉ネットワークの構築
	◇福祉関連施策や支援内容に関する情報の発信

3.すべての人にやさしい福祉のまちづくりの推進

主な取組	◇ユニバーサル社会づくりの推進と意識啓発
	◇すべての人に配慮した道路・施設整備の推進

4.生活困窮者の自立の促進

主な取組	◇窓口の周知とアウトリーチによる相談支援
	◇関係機関との情報共有と連携の強化
	◇個別の支援プランに基づく自立の促進
	◇地域の社会資源の把握と関係者の相互理解

関連個別計画

計画名	初年度	最終年度
赤穂市地域福祉計画	2022 年度 (令和 4 年度)	2026 年度 (令和 8 年度)

2.地域福祉推進体制の強化

主な取組	◇市民ニーズの把握と関係機関との連携強化
	◇包括的な相談支援体制の構築
	◇重層的な福祉ネットワークの構築
	◇福祉関連施策や支援内容に関する情報の発信

3.すべての人にやさしい福祉のまちづくりの推進

主な取組	◇ユニバーサル社会づくりの推進と意識啓発
	◇すべての人に配慮した道路・施設整備の推進

4.生活困窮者の自立の促進

主な取組	◇窓口の周知とアウトリーチによる相談支援
	◇関係機関との情報共有と連携の強化
	◇個別の支援プランに基づく自立の促進
	◇地域の社会資源の把握と関係者の相互理解

関連個別計画

計画名	初年度	最終年度
赤穂市地域福祉計画	2022 年度 (令和 4 年度)	2026 年度 (令和 8 年度)

変更計画（後期基本計画）・第3回総合計画審議会提案時			
【人】 歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり			
（9）歴史や文化、スポーツを通じた市民が活躍できる地域コミュニティの構築			
②生涯にわたり主体的に学び楽しめる環境をつくる			
現状と課題			
○個人の価値観の変化に伴う市民の学習ニーズの多様化に応え、それぞれのライフステージに即した生涯学習の総合的な推進が求められています。 ○公民館や図書館におけるサークル活動等の担い手が高齢化し、今後の活動の硬直化や縮小が懸念されることから、従来の活動にとどまらない生涯学習機会の充実・創出が必要です。 ○個人や団体の読書や学習、調査研究を継続的に支援するため、利用者のニーズを把握しながら計画的な図書の整備・充実を図ることが必要です。 ○図書館では、市民の読書活動促進のため、図書館だよりの発行や赤穂市公式LINEによるイベントのお知らせ等、さまざまな図書情報の発信に努めています。今後も図書館情報の積極的な提供・発信が求められています。 ○市民のニーズに合った講座・教室の実施によりサービスの充実を図ることが必要です。 ○市民が安心して利用できるよう、公民館やスポーツ施設の長寿命化対策など、計画的な整備が必要です。 ○健康増進への関心の高まりにより、スポーツに対する目的や内容が多様化しています。それぞれのライフステージに即したスポーツ活動の推進が必要です。 ○子どもたちのスポーツ_____に親しむ機会を確保するため、中学校部活動地域移行やスポーツ少年団_____活動について、地域によるサポートが一層求められています。			
施策の方針			
市民が生涯にわたり主体的に学び、楽しむことができるよう、生涯学習機会の提供を図ります。既存の公民館の計画的な改修を進め、安心・安全に利用できる公民館整備に取り組みます。 図書館については、図書の貸出・閲覧を中心に、各種講座・教室の開催によるサービスの充実や新着図書案内、話題の本・ふるさと情報など図書館情報の積極的な提供・発信を行うなど、市民の利便性の向上を図りながら、滞在型図書館を目指します。 また、健康で活力ある市民生活や地域社会の活性化のため、すべての市民が生活の一部としてスポーツ活動や健康づくり活動を行うことができる「スポーツ先進都市」として、スポーツ施設の整備・拡充および有効活用を進めるなど、スポーツ活動の場と機会の充実を推進します。			
目標指標			
目標指標	単位	基準値 （2024 年度）	目標値 （2030年度）
公民館登録サークル利用者数	人	31,747	43,000
図書館における活動団体数	団体	64	75

変更計画（後期基本計画）			
【人】 歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり			
（9）歴史や文化、スポーツを通じた市民が活躍できる地域コミュニティの構築			
②生涯にわたり主体的に学び楽しめる環境をつくる			
現状と課題			
○個人の価値観の変化に伴う市民の学習ニーズの多様化に応え、それぞれのライフステージに即した生涯学習の総合的な推進が求められています。 ○公民館や図書館におけるサークル活動等の担い手が高齢化し、今後の活動の硬直化や縮小が懸念されることから、従来の活動にとどまらない生涯学習機会の充実・創出が必要です。 ○個人や団体の読書や学習、調査研究を継続的に支援するため、利用者のニーズを把握しながら計画的な図書の整備・充実を図ることが必要です。 ○図書館では、市民の読書活動促進のため、図書館だよりの発行や赤穂市公式LINEによるイベントのお知らせ等、さまざまな図書情報の発信に努めています。今後も図書館情報の積極的な提供・発信が求められています。 ○市民のニーズに合った講座・教室の実施によりサービスの充実を図ることが必要です。 ○市民が安心して利用できるよう、公民館やスポーツ施設の長寿命化対策など、計画的な整備が必要です。 ○健康増進への関心の高まりにより、スポーツに対する目的や内容が多様化しています。それぞれのライフステージに即したスポーツ活動の推進が必要です。 ○子どもたちのスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保するため、中学校部活動地域移行やスポーツ少年団等の活動について、地域によるサポートが一層求められています。			
施策の方針			
市民が生涯にわたり主体的に学び、楽しむことができるよう、生涯学習機会の提供を図ります。既存の公民館の計画的な改修を進め、安心・安全に利用できる公民館整備に取り組みます。 図書館については、図書の貸出・閲覧を中心に、各種講座・教室の開催によるサービスの充実や新着図書案内、話題の本・ふるさと情報など図書館情報の積極的な提供・発信を行うなど、市民の利便性の向上を図りながら、滞在型図書館を目指します。 また、健康で活力ある市民生活や地域社会の活性化のため、すべての市民が生活の一部としてスポーツ活動や健康づくり活動を行うことができる「スポーツ先進都市」として、スポーツ施設の整備・拡充および有効活用を進めるなど、スポーツ活動の場と機会の充実を推進します。			
目標指標			
目標指標	単位	基準値 （2024 年度）	目標値 （2030年度）
公民館登録サークル利用者数	人	31,747	43,000
図書館における活動団体数	団体	64	75

<table> <tr><td>各種スポーツ施設の利用者数</td><td>人</td><td>475,917</td><td>500,000</td></tr> <tr><td>スポーツ大会の参加人数</td><td>人</td><td>9,696</td><td>11,000</td></tr> <tr><td>スポーツ少年団登録者数</td><td>人</td><td>615</td><td>750</td></tr> <tr><td>中学生が活動可能な地域スポーツ・文化芸術受入団体数</td><td>団体</td><td>22</td><td>45</td></tr> <tr><td>地域の資源を活かした「赤穂トレックウォーク」等の参加人数</td><td>人</td><td>82</td><td>100</td></tr> </table>				各種スポーツ施設の利用者数	人	475,917	500,000	スポーツ大会の参加人数	人	9,696	11,000	スポーツ少年団登録者数	人	615	750	中学生が活動可能な地域スポーツ・文化芸術受入団体数	団体	22	45	地域の資源を活かした「赤穂トレックウォーク」等の参加人数	人	82	100
各種スポーツ施設の利用者数	人	475,917	500,000																				
スポーツ大会の参加人数	人	9,696	11,000																				
スポーツ少年団登録者数	人	615	750																				
中学生が活動可能な地域スポーツ・文化芸術受入団体数	団体	22	45																				
地域の資源を活かした「赤穂トレックウォーク」等の参加人数	人	82	100																				
施策の展開 1.生涯学習の推進 主な取組 ◇市民ニーズに合った講座を行うなど、生涯学習の機会の充実 ◇市民の自主的な学習活動を支援 ◇公民館登録サークルの育成・支援 ◇老朽化に伴う生涯学習施設の整備促進 2.図書館サービスの充実 主な取組 ◇利用者のニーズに合った蔵書の充実と計画的な図書の整備 ◇新着図書案内、話題の本・ふるさと情報等図書館情報の発信 ◇市民のニーズに合った講座や教室を行うなど、サービスの充実 ◇活動団体のグループ育成と登録団体への支援 3.各種スポーツ施設の充実 主な取組 ◇地区体育館等の各種スポーツ施設の整備充実 ◇各種運動施設の利用促進 ◇各運動施設の長寿命化に向けた計画的な維持補修・更新 4.スポーツ活動の推進 主な取組 ◇健康で豊かな生活を送ることのできる生涯スポーツの促進 ◇観光施策と連携したスポーツ大会等の開催 ◇スポーツ団体の育成・強化 ◇スポーツ指導者の充実 ◇中学校部活動の地域移行（展開） ◇地域と連携した行事等の開催																							
<table> <tr><td>各種スポーツ施設の利用者数</td><td>人</td><td>475,917</td><td>500,000</td></tr> <tr><td>スポーツ大会の参加人数</td><td>人</td><td>9,696</td><td>11,000</td></tr> <tr><td>スポーツ少年団登録者数</td><td>人</td><td>615</td><td>750</td></tr> <tr><td>中学生が活動可能な地域スポーツ・文化芸術受入団体数</td><td>団体</td><td>22</td><td>45</td></tr> <tr><td>地域の資源を活かした「赤穂トレックウォーク」等の参加人数</td><td>人</td><td>82</td><td>100</td></tr> </table>				各種スポーツ施設の利用者数	人	475,917	500,000	スポーツ大会の参加人数	人	9,696	11,000	スポーツ少年団登録者数	人	615	750	中学生が活動可能な地域スポーツ・文化芸術受入団体数	団体	22	45	地域の資源を活かした「赤穂トレックウォーク」等の参加人数	人	82	100
各種スポーツ施設の利用者数	人	475,917	500,000																				
スポーツ大会の参加人数	人	9,696	11,000																				
スポーツ少年団登録者数	人	615	750																				
中学生が活動可能な地域スポーツ・文化芸術受入団体数	団体	22	45																				
地域の資源を活かした「赤穂トレックウォーク」等の参加人数	人	82	100																				
施策の展開 1.生涯学習の推進 主な取組 ◇市民ニーズに合った講座を行うなど、生涯学習の機会の充実 ◇市民の自主的な学習活動を支援 ◇公民館登録サークルの育成・支援 ◇老朽化に伴う生涯学習施設の整備促進 2.図書館サービスの充実 主な取組 ◇利用者のニーズに合った蔵書の充実と計画的な図書の整備 ◇新着図書案内、話題の本・ふるさと情報等図書館情報の発信 ◇市民のニーズに合った講座や教室を行うなど、サービスの充実 ◇活動団体のグループ育成と登録団体への支援 3.各種スポーツ施設の充実 主な取組 ◇地区体育館等の各種スポーツ施設の整備充実 ◇各種運動施設の利用促進 ◇各運動施設の長寿命化に向けた計画的な維持補修・更新 4.スポーツ活動の推進 主な取組 ◇健康で豊かな生活を送ることのできる生涯スポーツの促進 ◇観光施策と連携したスポーツ大会等の開催 ◇スポーツ団体の育成・強化 ◇スポーツ指導者の充実 ◇中学校部活動の地域移行（展開） ◇地域と連携した行事等の開催																							

関連個別計画		
計画名	初年度	最終年度
赤穂市教育振興基本計画	2021 年度 (令和 3 年度)	2030 年度 (令和 12 年度)
赤穂市子ども読書活動推進計画	2026年度 (令和8年度)	2030年度 (令和12 年度)
赤穂市スポーツ推進計画	2026年度 (令和8年度)	2030年度 (令和 12年度)

関連個別計画		
計画名	初年度	最終年度
赤穂市教育振興基本計画	2021 年度 (令和 3 年度)	2030 年度 (令和 12 年度)
赤穂市子ども読書活動推進計画	2026年度 (令和8年度)	2030年度 (令和12 年度)
赤穂市スポーツ推進計画	2026年度 (令和8年度)	2030年度 (令和 12年度)

変更計画（後期基本計画）・第3回総合計画審議会提案時																			
【人】 歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり																			
（9）歴史や文化、スポーツを通じた市民が活躍できる地域コミュニティの構築																			
㊼互いが尊重しあいすべての人が自分らしく生きることができる社会を実現する																			
現状と課題																			
○あらゆる差別やいじめ、インターネットによる人権侵害の解消や性的マイノリティへの理解増進のための啓発活動を推進することが必要です。																			
○制度や慣行において、性別による固定的な役割分担意識の変化はみられますが、態度や行動に現れる点において十分ではないため、さらなる啓発が必要です。																			
○ _____性別等に関係なく個性や能力を発揮できる環境づくりが求められています。																			
施策の方針																			
お互いの人権を尊重し、市民一人ひとりがあらゆる分野で個性と能力を発揮し、お互いに支え合うことのできる社会づくりを目指し、行政のみならず、赤穂市民主促進協議会内の各部会、赤穂市女性団体懇話会、人権擁護委員とともに、人権・男女共同参画に関する施策を推進します。																			
目標指標																			
<table><tr><th>目標指標</th><th>単位</th><th>基準値 (2024 年度)</th><th>目標値 (2030年度)</th></tr><tr><td>地域リーダー研修・住民学習会等の参加人数</td><td>人</td><td>2,266</td><td>3,000</td></tr><tr><td>フォーラム・市民講座・DV講演会の参加人数</td><td>人</td><td>340</td><td>900</td></tr><tr><td>女性問題相談・女性専門相談の件数</td><td>件</td><td>130</td><td>130</td></tr></table>				目標指標	単位	基準値 (2024 年度)	目標値 (2030年度)	地域リーダー研修・住民学習会等の参加人数	人	2,266	3,000	フォーラム・市民講座・DV講演会の参加人数	人	340	900	女性問題相談・女性専門相談の件数	件	130	130
目標指標	単位	基準値 (2024 年度)	目標値 (2030年度)																
地域リーダー研修・住民学習会等の参加人数	人	2,266	3,000																
フォーラム・市民講座・DV講演会の参加人数	人	340	900																
女性問題相談・女性専門相談の件数	件	130	130																
施策の展開																			
Ⅰ.啓発事業の実施																			
主な取組	_____																		
	◇人権啓発地域リーダー研修・人権啓発住民学習会への支援																		
	◇SNSによる誹謗中傷等の人権侵害を防止する啓発活動や、性的マイノリティへの理解増進のための啓発活動の実施																		
	◇男女共同参画フォーラム・男女共同参画市民講座・DV防止講演会の開催																		
	◇女性のための働き方セミナーの_____内容の充実																		

変更計画（後期基本計画）																			
【人】 歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり																			
（9）歴史や文化、スポーツを通じた市民が活躍できる地域コミュニティの構築																			
㊼互いが尊重しあいすべての人が自分らしく生きることができる社会を実現する																			
現状と課題																			
○あらゆる差別やいじめ、インターネットによる人権侵害の解消や性的マイノリティへの理解増進のための啓発活動を推進することが必要です。																			
○制度や慣行において、性別による固定的な役割分担意識の変化はみられますが、態度や行動に現れる点において十分ではないため、さらなる啓発が必要です。																			
○ 女性活躍を推進することで社会全体の意識改革を促すなど 、性別等に関係なく個性や能力を発揮できる環境づくりが求められています。																			
施策の方針																			
お互いの人権を尊重し、市民一人ひとりがあらゆる分野で個性と能力を発揮し、お互いに支え合うことのできる社会づくりを目指し、行政のみならず、赤穂市民主促進協議会内の各部会、赤穂市女性団体懇話会、人権擁護委員とともに、人権・男女共同参画に関する施策を推進します。																			
目標指標																			
<table><tr><th>目標指標</th><th>単位</th><th>基準値 (2024 年度)</th><th>目標値 (2030年度)</th></tr><tr><td>地域リーダー研修・住民学習会等の参加人数</td><td>人</td><td>2,266</td><td>3,000</td></tr><tr><td>フォーラム・市民講座・DV講演会の参加人数</td><td>人</td><td>340</td><td>900</td></tr><tr><td>女性問題相談・女性専門相談の件数</td><td>件</td><td>130</td><td>130</td></tr></table>				目標指標	単位	基準値 (2024 年度)	目標値 (2030年度)	地域リーダー研修・住民学習会等の参加人数	人	2,266	3,000	フォーラム・市民講座・DV講演会の参加人数	人	340	900	女性問題相談・女性専門相談の件数	件	130	130
目標指標	単位	基準値 (2024 年度)	目標値 (2030年度)																
地域リーダー研修・住民学習会等の参加人数	人	2,266	3,000																
フォーラム・市民講座・DV講演会の参加人数	人	340	900																
女性問題相談・女性専門相談の件数	件	130	130																
施策の展開																			
Ⅰ.啓発事業の実施																			
主な取組	◇赤穂市人権教育・啓発基本計画および赤穂市男女共同参画プランに基づく施策の推進																		
	◇人権啓発地域リーダー研修・人権啓発住民学習会への支援																		
	◇SNSによる誹謗中傷等の人権侵害を防止する啓発活動や、性的マイノリティへの理解増進のための啓発活動の実施																		
	◇男女共同参画フォーラムに 関するフォーラム・講座等の実施																		
	◇女性のための働き方セミナー など女性活躍への支援																		

2.相談事業の実施

主な取組 ◇相談業務の継続実施

関連個別計画

計画名	初年度	最終年度
赤穂市人権教育・啓発基本計画	2023 年度 (令和 5 年度)	2027 年度 (令和 9 年度)
赤穂市男女共同参画プラン	2024 年度 (令和 6 年度)	2033 年度 (令和 15 年度)

2.相談事業の実施

主な取組 ◇相談業務の継続実施

関連個別計画

計画名	初年度	最終年度
赤穂市人権教育・啓発基本計画	2023 年度 (令和 5 年度)	2027 年度 (令和 9 年度)
赤穂市男女共同参画プラン	2024 年度 (令和 6 年度)	2033 年度 (令和 15 年度)

変更計画（後期基本計画）・第3回総合計画審議会提案時

【人】歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり

（9）歴史や文化、スポーツを通じた市民が活躍できる地域コミュニティの構築

②6地域の多様なコミュニティ活動を活性化する

現状と課題

〇価値観の多様化やプライバシー意識の高まりにより、地域への愛着、帰属意識が希薄化しつつあるため、地域コミュニティ活動を活性化することが求められています。

〇地域住民が自ら伝統文化や地域環境を守るなど、魅力ある地域づくりを行うとともに、平常時から地域の連帯感を高め、災害時の相互扶助の精神を育むことが必要です。

施策の方針

自治会やPTA、老人会、女性会、学校園等、地域で活動するさまざまなコミュニティ団体の活動を支援し、地域コミュニティの維持、活性化を図り、市民一人ひとりの地域コミュニティへの参加を促進します。

また、地区公民館、コミュニティセンター等を拠点に、地域の連帯感の向上を図ります。

目標指標

目標指標	単位	基準値 (2024 年度)	目標値 (2030年度)
まちづくり連絡（推進）協議会活動の延べ参加人員	人	24,714	32,000
コミュニティセンター等（2箇所）の延べ利用人数	人	7,253	10,000

施策の展開

1.まちづくり活動の推進

主な取組

◇それぞれの地域の特性を活かしたまちづくり活動への支援

2.小規模高齢化集落の活動拠点の活用

主な取組

◇西部、北部地域におけるコミュニティ活動拠点としてのコミュニティセンター等の維持、長寿命化

変更計画（後期基本計画）

【人】 歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり

（9）歴史や文化、スポーツを通じた市民が活躍できる地域コミュニティの構築

②6地域の多様なコミュニティ活動を活性化する

現状と課題

○少子高齢化や単身世帯の増加、労働環境の変化などの複合的な要因により、住民の地域活動への参加意識が低下しています。

○住民同士のつながりが弱まることで、様々な社会問題を引き起こす恐れがあるため、地域コミュニティ活動を活性化することが求められています。

○地域住民が自ら伝統文化や地域環境を守るなど、魅力ある地域づくりを行うとともに、平常時から地域の連帯感を高め、災害時の相互扶助の精神を育むことが必要です。

施策の方針

自治会やPTA、老人会、女性会、学校園等、地域で活動するさまざまなコミュニティ団体の活動を支援し、地域コミュニティの維持、活性化を図ります。

住みよい社会の形成を目的として地域住民の人間関係を強め、地域の資源や特性を活かした個性豊かな魅力ある地域づくりを推進することで、一人ひとりが地域に関心を持ち、安全で住みよいまちを目指します。

地区公民館、コミュニティセンター等を拠点に、地域の連帯感の向上を図ります。

目標指標

目標指標	単位	基準値 (2024 年度)	目標値 (2030年度)
まちづくり連絡(推進)協議会活動 の延べ参加人員	人	24,714	32,000
コミュニティセンター等(2箇所)の 延べ利用人数	人	7,253	10,000

施策の展開

1.まちづくり活動の推進

主な取組◇それぞれの地域の特性を活かしたまちづくり活動への支援

2.自治会活動への支援

主な取組◇持続可能な自治会活動に向けた集会所の施設維持への支援および資材の提供

			3. 地域コミュニティ団体への支援 主な取組 ◇地域コミュニティ団体へのイベント用機材等の貸し出し ◇市民活動災害保険への加入奨励によるボランティア活動の推進		
関連個別計画			関連個別計画		
計画名		初年度	計画名		初年度
		最終年度			最終年度
赤穂市個別施設計画（コミュニティセンター等）		2025 年度 （令和 7 年度）	赤穂市個別施設計画（コミュニティセンター等）		2025 年度 （令和 7 年度）
		2033 年度 （令和 15 年度）			2033 年度 （令和 15 年度）